

# 産業建設委員会記録

令和3年4月14日（水）  
9時55分～11時05分  
全員協議室

【委員】串崎委員長、飛野副委員長

川上委員、野藤委員、笹田委員、布施委員、道下委員

【委員外】西川議員

【議長団】

【事務局】近重書記

---

## 議題

1 産業建設委員会の取組課題について（委員間で協議）

2 その他

以上

【議事の経過】

[ 9 時 55 分 開議 ]

串崎委員長

ただいまから産業建設委員会を開会する。本日は野藤委員が欠席で、6名で進めさせていただくのでよろしく願います。では早速議題に入る。

1. 産業建設委員会の取組課題について（委員間で協議）

串崎委員長

最初に資料1と2がタブレットに入っている。それについて皆の意見、また執行部に要望などがあると思うので、それについて意見をお聞きしたい。

まず資料1についてご意見や執行部へ申し入れたいことがあれば願います。書記より説明を。

近重書記

（以下、資料をもとに説明）

串崎委員長

今の説明も兼ねてご意見があれば願います。

布施委員

事前に配信された資料を見て、取り組み事項を書いたが、これは項目だけで中身が全然出てない。産業建設委員会で山陰浜田港公設市場がこのたびオープンした。そしてはまだお魚市場がグランドオープンに向かって、あそこを中心ににぎわい創出をしていかないと、水産都市浜田の核となる部分はオープンしたがそれだけではだめだということで、庁舎内にプロジェクトチームをつくっていただいた。しかしこれを見るとまた同じようなものしか出ていない。具体的にアやイや1から4までの取り組みはあるが、何をどうしていくかを、もう時間がたっているので具体的に。具体的施策と書いてあるが中身は具体的ではない。そうしたことをしっかりやっていただきたいと申し上げておく。

提案しても、ここは県施設だから手をつけられないとか、ここはこちらの課だからわからないとか、そういったことが結構ある。それがないうえに横断的なプロジェクトチームをつくってくれと言うのだが、このたびの機構改革で課長が兼務するような状態である。本当に水産都市浜田として取り組みを真摯にやれるのか。意見だけである。

串崎委員長

とりあえず今は資料1のみで。

布施委員

今回出た意見は委員会の意見として、プロジェクトチームなど関係者にきちんと言えるのか。

近重書記

今回の資料については、こういった意見が出たが、もちろん会議録自体はできるので、こういう意見が出たということでつくった後に提供することも可能だし、今日の動画も見られるので、配信後に執行部に確認をお願いすることは可能である。

川上委員

資料1だが、ごらんのとおり10月末にやって次は12月半ば過

笹田委員

ぎにやって、もう新年度に入って4月の半ばになろうとしている。この間に何をしていたのかという気がする。特に3月になってから例の船が沈んだ。浜田の水産が大打撃を受けた状態なのに何も手を打とうとしない様子が見える気がする。これについて皆はどう思われるか、一度聞いてみたい。

活性化ワーキンググループは地域の民間団体がほとんど入っていただき、布施委員が言われたように目的の2、観光及び地域活性化推進に向けた具体的施策ということで、ここをこのワーキンググループが担って活動していくことがこの会の意味だと思うが、ここが昨年度にどこまで計画を練ってきたのか。今年度どういう形でこれを推進していくか、このワーキンググループでしっかり話し合っていたかかないと。これは浜田市が立ち上げて、費用も出るかと思う。2番の庁内の分は5月以降、第2、第4月曜日の9時から協議を行うとのことだが、これを見ると5月以降適時ワーキンググループ会議を開催ということで、いつ開かれるかもわからないし、本当にこの施設をよくするための。つくっているだけで、本当に機能させていくような方向性が見えないことが疑問なのだが。どうやって活性化していくかは議会も含めて執行部に対してしっかり言っていく必要があるのでは。

川上委員

布施委員が言われたように横断的ということを私ももともとと言っている。地域のたくさんの組織も横断的に意見を交わせる状態にしていたかねばならない。すると全員が集まらなくてもよいので5月初めなどと言わずに逐次やっていただきたい。そうしないと何も進まない。

布施委員

まさしくそのとおり、物事を進めるためには。全部そろわないと始めないようなことを特に行政はやりたがるが、できるところ、取り組めるところから見える化していく。それが全然見えてないから、我々が不安になる。やはり我々が聞かなくても、こうするああすると、委員会ごとに報告があつてよいと思うのに、それが無い。

ワーキンググループやみなとオアシスの取り組みなどいろいろ書いてあるが、具体的に今までとどう変わるのか。それが全然見えてない。活性化というのは勢いをつけること。しかし勢いはついてない。

ワーキンググループの座長は誰なのか。

近重書記

事務局は恐らく水産振興課だと思うが、要は場を仕切っているのが誰かということか。

串崎委員長

ここで暫時休憩する。

[ 10時 07分 休憩 ]

[ 10時 37分 再開 ]

串崎委員長

委員会を再開する。今皆からいろいろな意見をいただいたので、執行部から後日回答というか。私の考え方からいえば、このワーキンググループ、プロジェクトチームというのが、これは議員と話を共有するということを最初の段階で決めさせていただいているので、そういう会議を一度持つべきだろうと感じている。皆の意見を伺う。

川上委員

休憩前にはどこが主導的にやっているかを、まず確認しようではないかとなった。それはどなたが確認されるのか。休憩前に出た、このワーキンググループをまとめているのはどこかをお答えいただいた上で、今話をさせていただきたい。

串崎委員長

執行部にいろいろ聞きたいことを言っておられた。少し整理すると、具体的な内容がわからないこともあったし、10月と12月の2回しかワーキンググループの会議をしていないので、今年はいつやるのか。また、横断的な意見はどうなっているかということもある。計画やワーキンググループの施策等もどうなっているのかも言っておられた。そうしたことを今後整理して、執行部とやられたことに対しての意見をお聞きして、また委員会と共有したいと感じている。そういう形によるしいか。

川上委員

意見が出たものをワーキンググループを主導している担当課はどこか、そこへ言われると思うが、担当課はどこかということをもっとやっておかないと、言うべきところが見えない。

近重書記

ワーキンググループの事務局は水産振興課が行っており、会議などを進めていくとのことだったので、所管は水産振興課である。

串崎委員長

ということで今後このことを併せて、できるだけ早い時間でこのことについて再度委員からご意見をいただきたい。そういうことでよろしいか。

( 「はい」という声あり )

では、同じような話になるかもしれないが資料2の浜田漁港周辺エリアの活性化プロジェクトチームについて、ご意見がある方はお願いします。

布施委員

メンバーこそ違えど報告事項は全く同じである。回数はワーキンググループより多いがこれも中身が見えてこない。活性化についての話し合いをしているのも見えてこない。公設市場オープンに向けたイベントなどがあって、行政の専門的な部分からプロジェクトチームが出ているわけだが、関係人口にしても水産業にしても専門的な部分の追求が全く出てない。この後どうするのか。1年で終わりではない。5年、10年、浜田港活性化をするためには未来永劫活性化しなければならぬ。先の手当てをするというのがこのプロジェクトチーム

串崎委員長  
近重書記  
串崎委員長  
布施委員

の考え方だと思うが、オープンに関する取り組みしかない。この中のメンバーで誰が主体なのか。プロジェクトチームの座長。

座長は確認できていないが。

水産振興課で進行しており、トップは水産振興課長。

事務局からは水産振興課長との回答だった。

トップは水産振興課長だが、座談会的なプロジェクトチームの話し合いなのか、テーマを持った話し合いなのか、年次計画などのスケジュールはどうなっているか。わかる範囲で教えていただきたい。

近重書記

活動予定については6番にあるとおり第2、第4月曜の9時から行う。これは定例的に行うとのこと。ただここで毎回、ある程度各会議で出た問題点などを次回に検討するだとか、多分フリートーク、何も課題を設定せずに行うことはなく、活動実績にも内容・議題があるが、こちらあらかじめ設定した上でプロジェクトチームを開催し、内容の検討などを行っている。

布施委員

今、公設市場の一部はオープンしているが、これのプラン・ドゥ・チェック・アクションは当然ながら、自分たちが意見を言った部分、そしてワーキンググループの考え方、それらの実績や効果をフィードバックして次に生かすものであるが、その辺の実績報告などは常に上がっているのか。

串崎委員長

今日は執行部を呼んでない状況なので、今言われることを整理してまた執行部にお問い合わせすることとする。また、この会議をされたら当委員会に共有することとなっている。もう7回されているので、どのような話になっているかを早い時期に状況説明いただき、また委員からわからない点について質問するので、その点で執行部からまた答弁いただくということで、日にちを別に設けたほうがよい。

布施委員

委員長の言われることは私も十分わかっている。委員長から関係部署に言っていただくための座談会方式の質疑なので、今言われたように、関係部署に言っていただきたい。

串崎委員長

ほかにあるか。

( 「なし」という声あり )

では資料1と2についてはここで終わらせていただく。後ほど皆の日程調整をして、いつかを決めさせていただきたい。

次に進んでもよろしいか。

( 「はい」という声あり )

では最初に申し上げたように、今の取り組み課題について先般の全員協議会で報告だけはさせていただいたが、今後どのように扱っていくかを少し検討させていただきたい。ご意見のある方はどうぞ。

- 布施委員 10月から改選時期になるが、終点を決めないと。一応いつまでにどういう形でやっていくという、スケジュール的なものは決めておいたほうがよい。今日決めなくても9月を最終として、当委員会の水産の地域の活性化についての提言に向けた話し合いはおくのだ、そのためにはここまではプロジェクトチームの確認をする。提言につながるようなものを委員会としてやっていくという形で捉えたほうが、進めやすいのかと私は思う。
- 飛野副委員長 布施委員から提言のスケジュールなどの話が出た。私も意見があるので皆に協議いただきたいのだが、果たして提言でないといけないか。少し重い。意見書的なものではだめなのか、ご協議いただきたい。
- 串崎委員長 提言というよりも意見書という形でまとめたらどうかということだろうが、どうだろうか。
- 川上委員 以前、委員長からこのような形でお示しいただいたものが私の手元にあるのだが、これを参考にしながら先般の報告も使いながら、先ほど副委員長が言われたように意見書でもよろしい気がする。提言となるとなかなかまとまりにくい気がする。
- 串崎委員長 意見書でというご意見が出たが、皆は意見書という形によるしいか。
- 布施委員 提言になると政策まで追求できる。意見は物事があるものについてこうだからこうせよというのは言いやすいが、政策を入れよというのは提言のほうが言いやすい。産業建設委員会で皆が知恵を絞ったことを話し合っって執行部に出すのであれば、提言書のほうが重い気がする。
- 笹田委員 総務文教委員会、福祉環境委員会、産業建設委員会で大きなテーマを持ってやろうというのが決まったわけだが、それは提言書に向けての委員会をやるということでは初めはなく、大きな問題点にこの委員会がどう取り組むかが一番だと思う。その中で執行部に対して足りない施策をやれというのがあれば提言に結びつけて提言書を出せというのが最終的な目的だと思っている。誰がやるかは別にして、ここまでのいろいろな面で、お魚市場もオープンしていろいろな意見が出ているので、私は意見書より提言書のほうがよい気がする。
- 川上委員 あまり違いがよくわからない。提言書と意見書の違いはわからないので。先ほど布施委員が言われたように、市がしっかり当委員会の言ったことを進めていってくれることが大事だと思う。
- 飛野副委員長 お二人の意見を聞いたが、先般出したことも提言につながることは事実なので、特段提言の形でもよいと思う。
- お魚センターのことはタイミング的に機を逃している部分

笹田委員

があると頭にあったのだが。提言となればエリアの活性化という広い範囲に力を置いて、ここに提言書としてのまとめをする必要があるのではないかと思う。

意見はほぼ一緒だと思っている。提言と提案が違う。提案とは案を出すことなので、具体的にああしろこうしろというのが提案で、提言とは考え・意見を出すことなので、提言も意見も同じだと思う。提言に抑えるなら副委員長が言われたように案を出すのではなく考えをしっかりと伝えて、進めていくほうがよいのではないか。

串崎委員長

そうすると提言という形で一応整理する形になった。あと先ほど布施委員が言われた、スケジュールだがいつごろをめどにまとめるか。10月が改選なので6月には出したほうがよいのではと思うがどうか。

道下委員

全体のお魚市場のプロジェクトが立ち上がるのが7月をめどということなので、6月に向けていくという意見に賛同したい。

串崎委員長

ほかになれば6月に決めさせてもらってよいか。

( 「異議なし」という声あり )

方法だが、一応前に提言書を皆に提示した。その後一度意見交換をしている。前の提言書はそこが抜けている。皆が見て、言い回しや追加する点などほとんどできているので、これに少しつけ加えて提出してもらったほうがよいかもしれない。それをまとめてまた考える形を取らせていただこう。

また先ほどの、チームで取り組んだことに対する報告会をしたいと思う。その報告会をした後のほうがよいようにも思うが、どうだろうか。よいか。

( 「はい」という声あり )

では、とりあえず産業建設委員会の取り組み課題については、これで終了してよいか。

( 「はい」という声あり )

## 2. その他

串崎委員長

布施委員

そのほかで何かあるか。

産業建設委員会の新年度になって、1回は議長から、コロナ禍の中で委員会視察をある程度緩和されたようなことを言われたが、あれからいろいろと大田に変化も出て、いろいろある。視察は新年度になってもなかなかできないと思う。そのために副幹事の野藤委員と一緒にどうしようかと言っている。本当はマルハニチロの陸上養殖を見に行くのが一番よいと思っていたのだが、東北も受け入れてくれず断念している。もう考えずに、視察はできないと考えたほうがよいと思って今日言わせていただく。その方向で委員長、皆にどうだろうか。

串崎委員長

布施委員が今言われたが、どうだろうか。

( 「異議なし」という声あり )

- 布施委員が言われたような形でとりあえずは進めて、あれでも話が。
- 布施委員 あれでも、鳥取がお嬢サバに続くクラウンサーモンの陸上養殖をやり出したが、鳥取なら行ける可能性があるかと思う。しかしコロナ禍で団体で行くのは受け入れられない部分があるので、そういうものもあるが。そういうときが来たらまた皆に情報を共有して、どうするかお伺いする。一応今のところ委員会視察はないということでご了承いただきたい。
- 道下委員 それでよいが、鳥取の境港はすごく気になる。また鳥取港も気になる。陸上養殖、よいではないか。煮詰めてもらって行けたら行こう。
- 布施委員 こちらが行きたいといっても相手がだめだと言えば無理だから。その辺も踏まえて。
- 道下委員 前向きにお願いします。
- 串崎委員長 では視察についてはそのような形にさせていただく。最後になるが、執行部との共有の会議についてだが、いつにしようか。
- 《 以下日程調整 》
- では10、11日のどちらか、午後でもよい。できれば午前10時で。もしできなければ午後でもよいということで調整してほしい。
- 近重書記 執行部に打診するに当たり、あらかじめどういったところを伺いたいか、事前に向こうに。
- 串崎委員長 先ほどのことと今までの会議内容についての報告である。
- 近重書記 例えば会議の内容となると、議事録、その会議で決まったことや、次回に検討する。一言一句のものではなく、その会議でどのようなことを決定して次回に持ち越したかなどか。
- 串崎委員長 箇条書きで結構である。
- 近重書記 事務局である水産振興課の出席を求める形でよろしいか。
- 串崎委員長 今のようなことでよろしいか。
- ( 「はい」という声あり )
- ではほかになければこれで産業建設委員会を終わりたい。

[ 11 時 05分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員長 串崎 利行